

# **CADEWA Smart V3.0**


## **～ルミナスプランナー連携編～**

# 目次

電気図面を作画してみましょう

1. 図面を開く
2. 部屋
3. オブジェクトカタログ
4. LP部材登録
5. 照度計算
6. LP連携

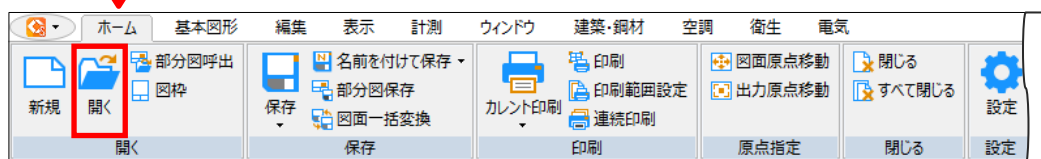
## マウスの使い方

- 
- 1
- 1右
- 1W
- 1
- 1 + Ctrl
- 1 + Shift
- 1右 →
- 右ドラッグマウス移動
- …指示位置をクリック（左クリック）します。
  - …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
  - …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。
  - …マウスを表示位置に近づけます。
  - …[ Ctrl ]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
  - …[ Shift ]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
  - …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。

# 1. 図面を開きましょう

## Operation

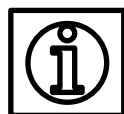
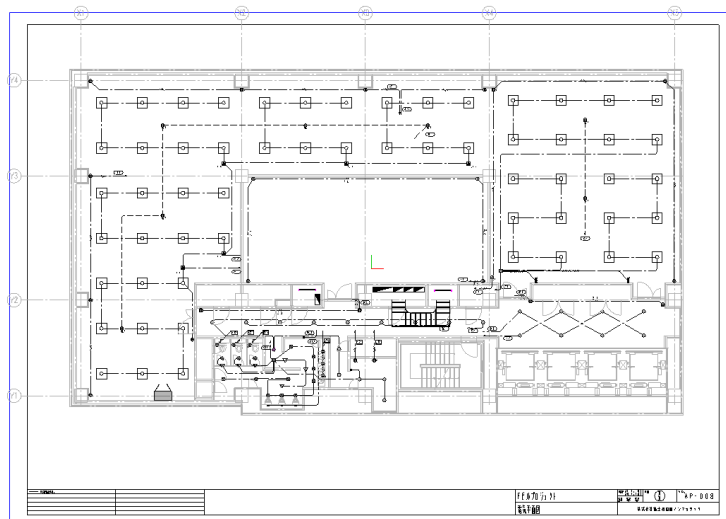
開く



使用する図面は  
Smart\_30\_E02\_電気開始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く



## ルミナスプランナー連携を使用するために

ルミナスプランナー連携で「LP照度計算」「LP部材登録」を使用するには、以下の環境と設定が必要です。

### ・ルミナスプランナーのインストール

Luminous Planner Version 7.3.7以降の製品で対応しています。インストール後、インターネット環境に接続した状態で、必ず起動確認を行ってください。

### ・インターネット接続

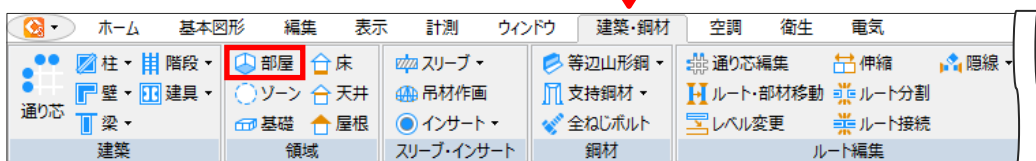
「LP部材登録」を行うためにはインターネット接続が必要です。なお、1度登録いただいた部材は次回からオフラインでも使用可能です。

# 2.

## 部屋情報を作画してみましょう

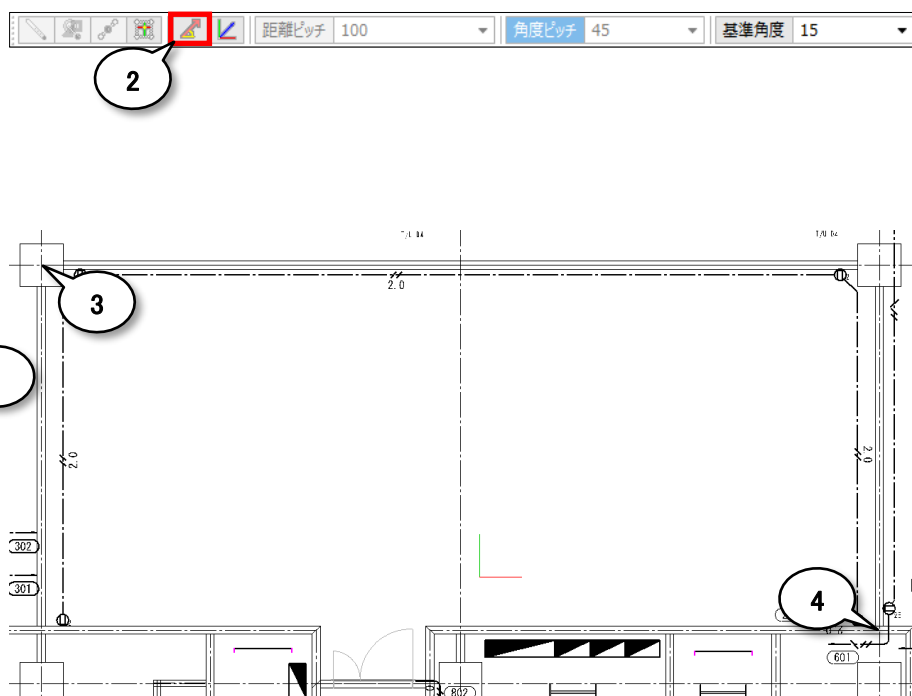
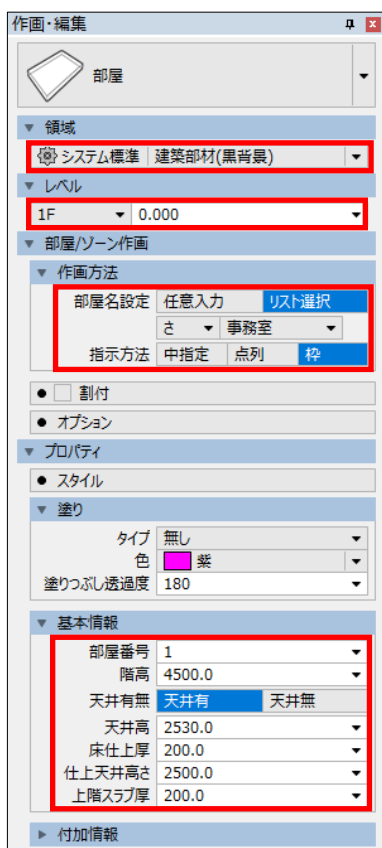
### Operation

#### 部屋



### ① 照度分布に使用する部屋情報を設定します

- \*プリセット: 建築部材(黒背景)
- \*レベル: 0
- \*部屋名設定: リスト選択、さ、事務室
- \*指示方法: 枠
- \*階高: 4500
- \*天井高: 2530
- \*仕上天井高さ: 2500



### ② 「ベクトル」をOFFにします

### ③ 枠始点を指示してください

- \*通り芯の交点をクリック

### ④ 枠終点を指示してください

- \*通り芯と壁芯の交点をクリック

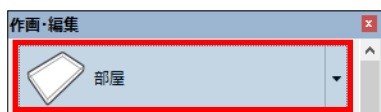
# 3.

## ルミナスプランナー連携を使って照明器具を登録してみましょう

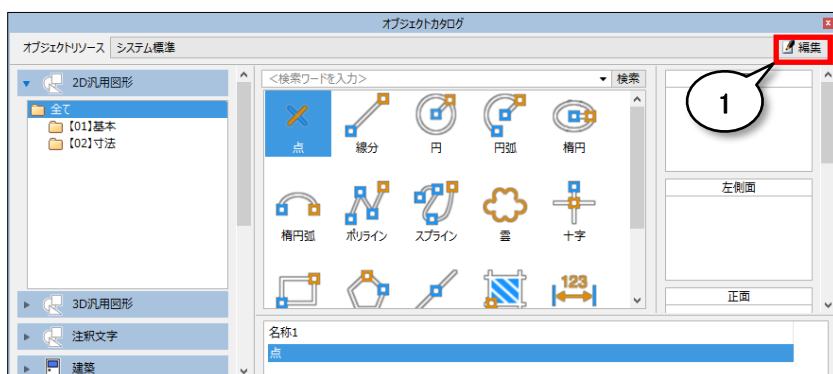
### Operation

### オブジェクト カタログ

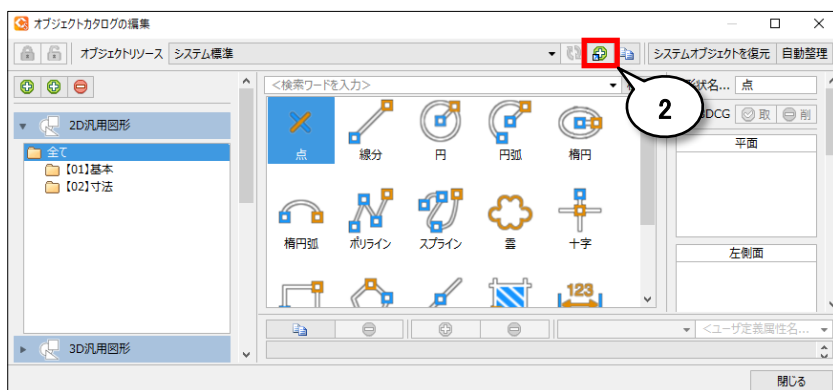
オブジェクトカタログをクリックします



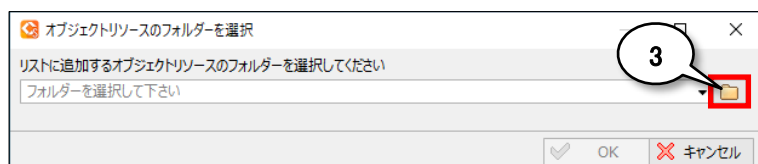
① オブジェクトカタログを編集します



② 既存のオブジェクトリソースフォルダーをリストに追加します



③ リストに追加するオブジェクトリソースのフォルダーを選択してください



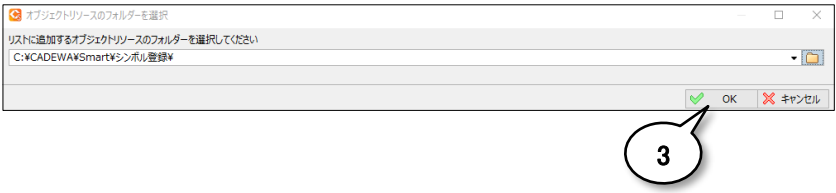
① 登録データを作成するフォルダーを選択します

\*あらかじめ、シンボル登録データを保存するフォルダーを作成しておき、選択します

② 「フォルダーの選択」をクリックします

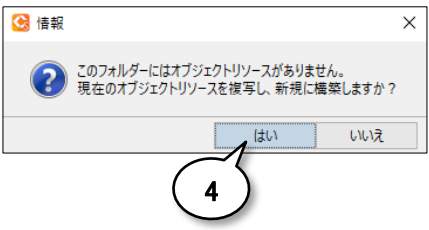


③ OK

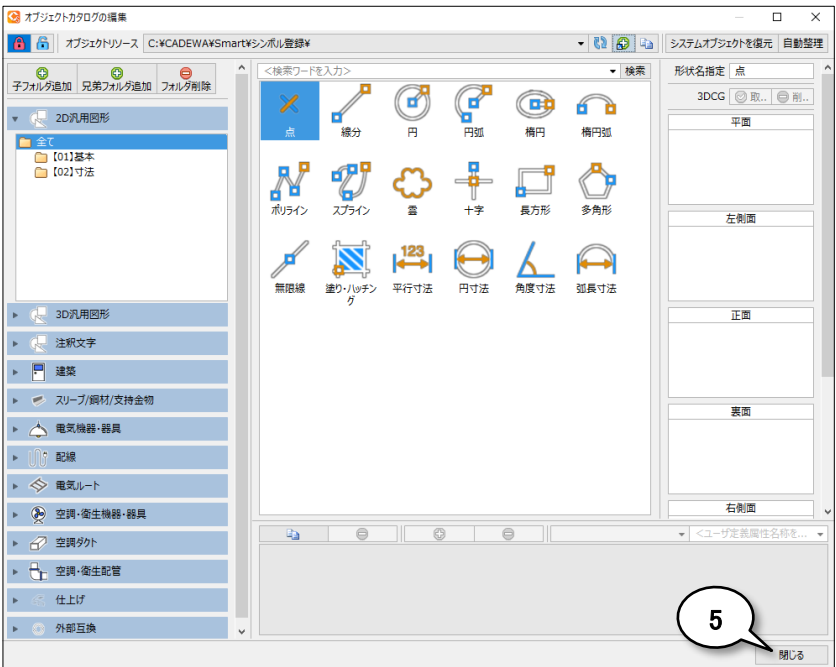


④ はい

\*2回目以降、1回目と同じフォルダを選択して登録する場合、この操作は不要です



⑤ 閉じる

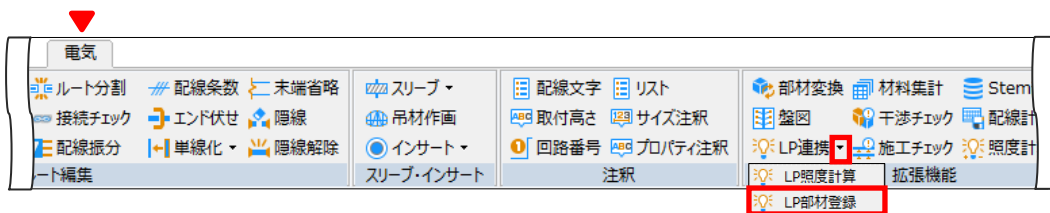


# 4.

## ルミナスプランナー連携を使って照明器具を登録してみましょう

### Operation

#### LP部材登録



① ルミナスプランナー計算エンジンを起動します

② 登録する器具を検索します  
\*器具品番: LRS4

③ 検索

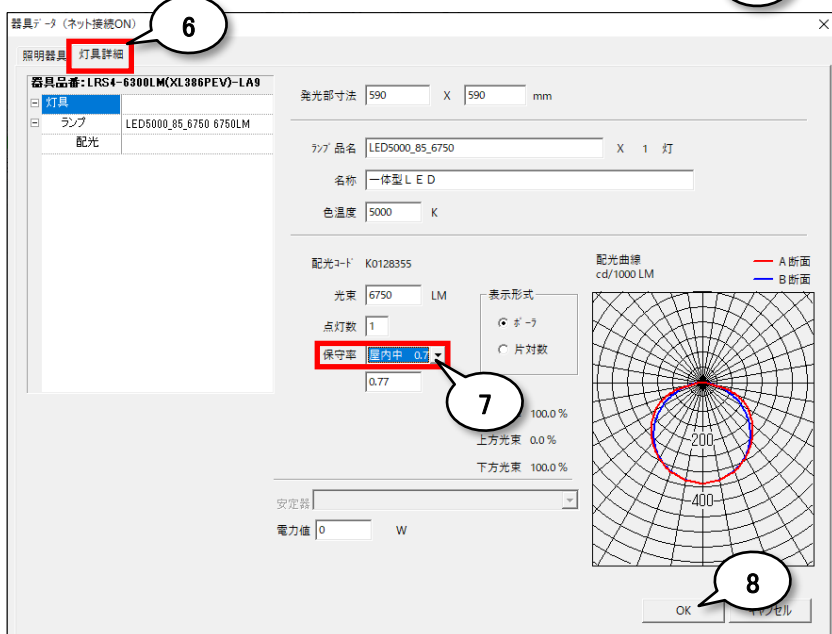
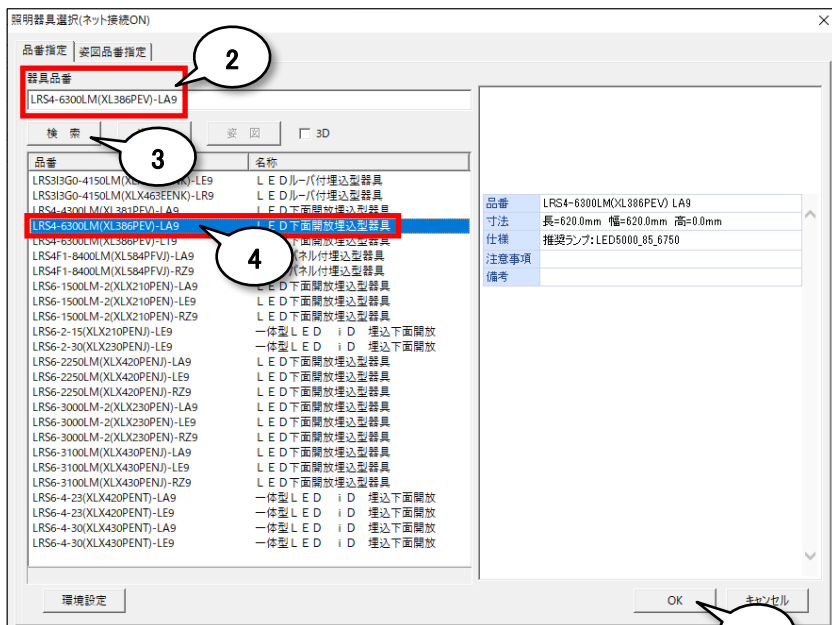
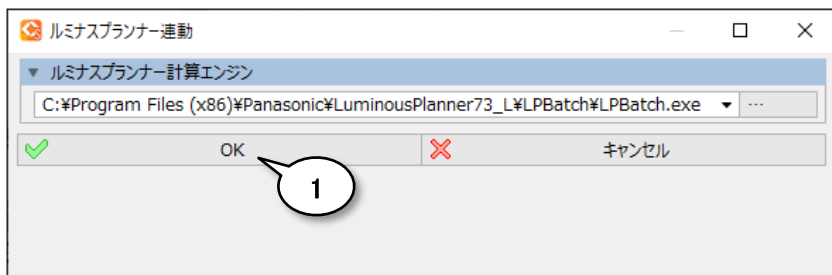
④ 登録する器具品番を選択します  
\*LRS4-6300LM(XL386PEV)-LA9

⑤ OK

⑥ 「灯具詳細」を設定します

⑦ 保守率を選択します  
\*保守率: 屋内中 0.77

⑧ OK



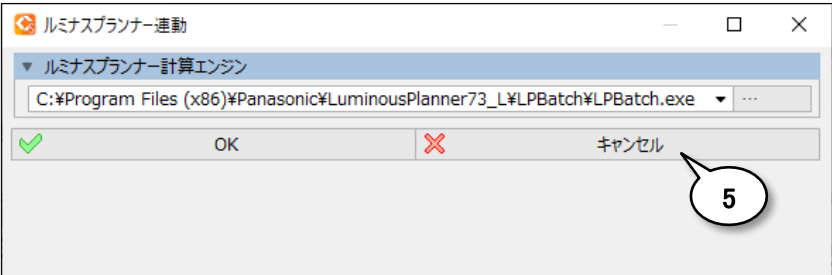
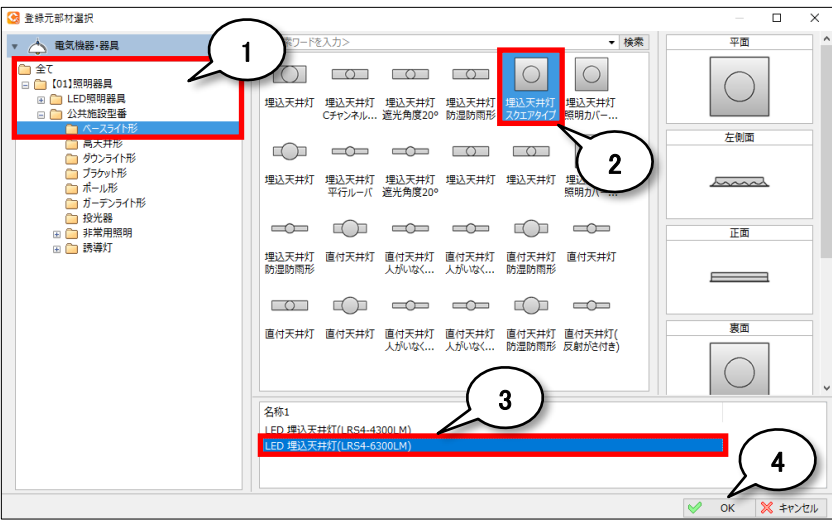
① 登録元とする部材を選択します  
\*「電気機器・器具」→「【01】照明器具」  
→「公共施設型番」→「ベースライト  
形」

② 参考形状を選択します  
\*埋込天井灯スクエアタイプ

③ 参考器具を選択します  
\*LED 埋込天井灯 (LRS4-6300LM)

④ OK

⑤ キャンセル



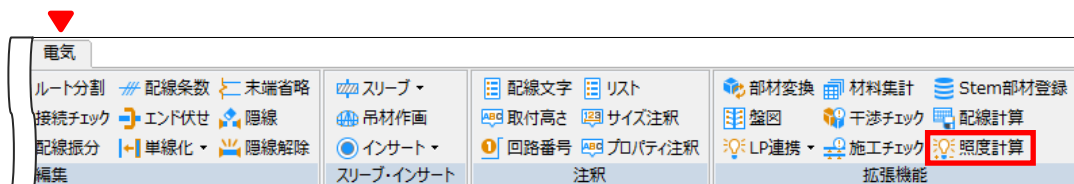


# 5.

## 照度計算を行いましょ

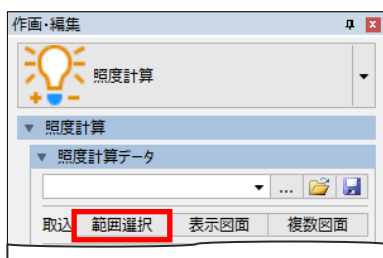
### Operation

### 照度計算



- ① 照度計算を行う部屋を選択します

\*「範囲選択」をクリック



- ② データを取得する照明器具と部屋情報を選択してください

- ③ 選択範囲の終点を指示してください

- ④ 右 選択完了

- ⑤ 照度計算データを設定します



- ⑥ 照明器具形式を選択します

\*「選択」をクリック

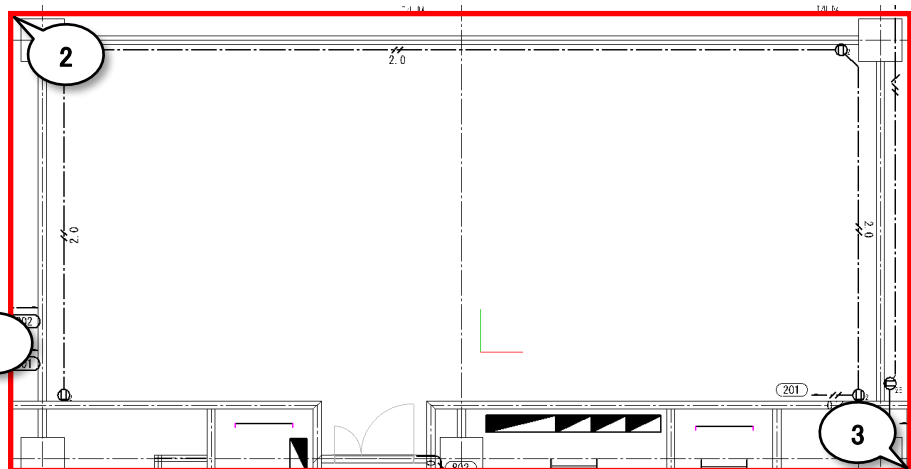
- ⑦ 器具を選択します

\*「外部互換」-「【03】LP連携」

- ⑧ 器具を選択します

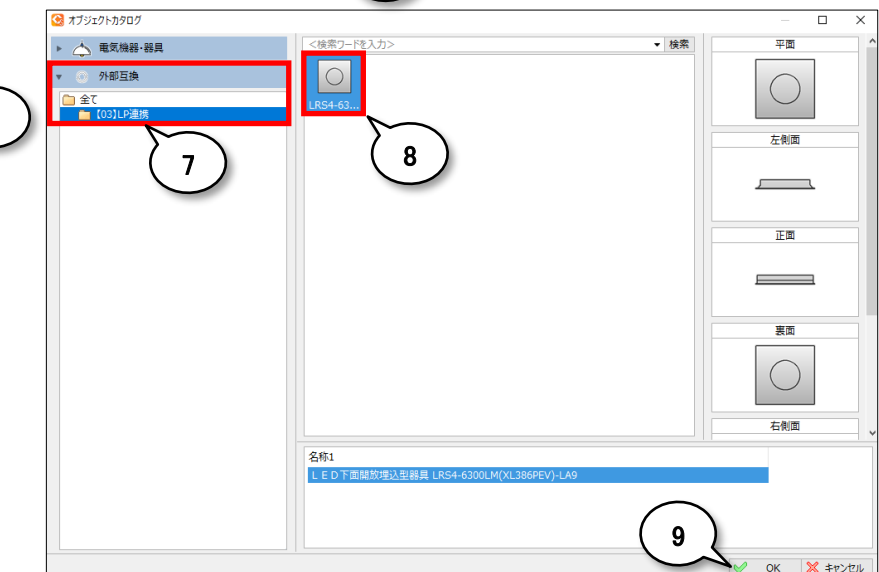
\*LRS4-6300LM(XL386PEV)-LA9

- ⑨ OK



4右  
右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。

照度計算										
階数	室名	照明器具形式	器具の光束 F (lm)	設計照度 E (lx)	開口 X (m)	奥行 Y (m)	面積 A (m2)	高さ Z (m)	作業面高さ h1 (m)	
1F	事務室	選択 LED下面開放型...	選択 指示	6750	750	参照 14.4	指示 6.3	指示 90.36	2.5	0.8



① 設計照度を設定します

\*設計照度:750

② 作業面高さを設定します

\*作業面高さ:0.8

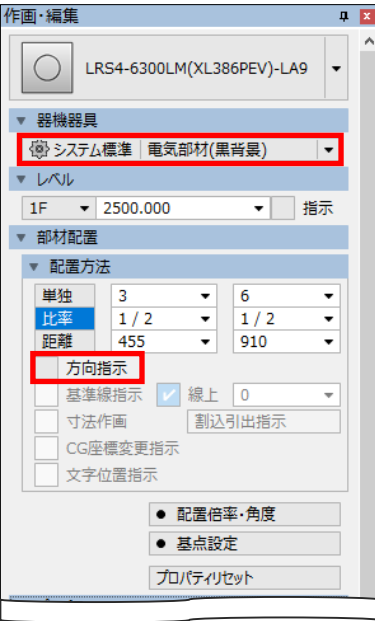
③ 照明器具を配置します

\*「配置」をクリック

④ 配置方法を設定します

\*プリセット: 電気部材(黒背景)

\*「方向指示」をOFF



⑤ 対角点1を指示してください

\*通り芯の交点をクリック

⑥ 対角点2を指示してください

\*通り芯と壁芯の交点をクリック

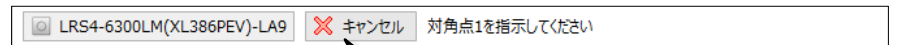
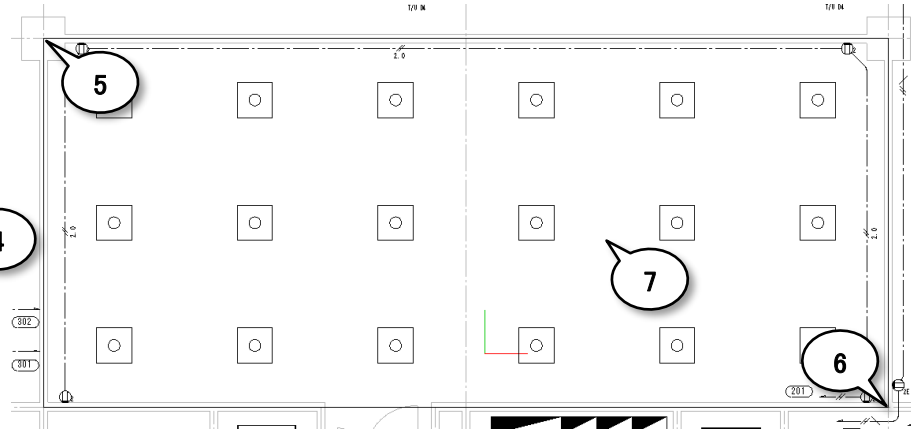
⑦ シミュレーションを行ってください

⑧ 照度計算に戻ります

\*「キャンセル」をクリック

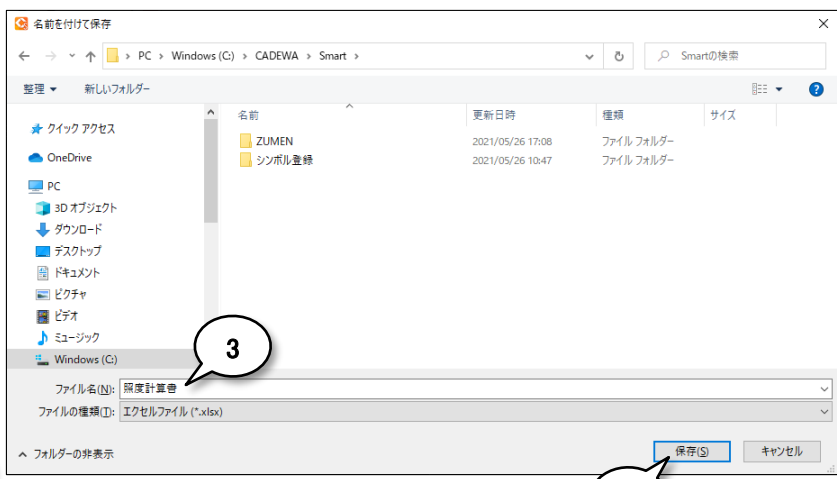
階数	室名	照明器具 形式	器具の 光束 F (lm)	設計 照度 E (lx)	開口 X (m)	奥行 Y (m)	面積 A (m2)	高さ Z (m)	作業面 高さ h1 (m)	器具 下 h (m)
1F	事務室	選択 LED下面開放埋...	選択 指示 6750	750	参照 14.4	指示 6.3	指示 90.36	2.5	0.8	0.0

記号	天井 (%)	壁 (%)	床 (%)	照明率 U	周囲 環境	保守 率 M	器具 の数 N (台)	設計 器具 の数 N (台)	設計 照度 E (lx)	備考	図面 ファイル名
D	70	50	10	0.76	取壊	普通	0.77	17.16	18	配置 787	S...



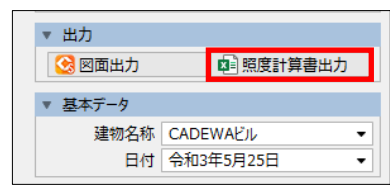
① 基本データを設定します

\*建物名称: CADEWAビル  
\*日付: 令和3年5月25日



② 照度計算書を出力します

\*「照度計算書出力」をクリック

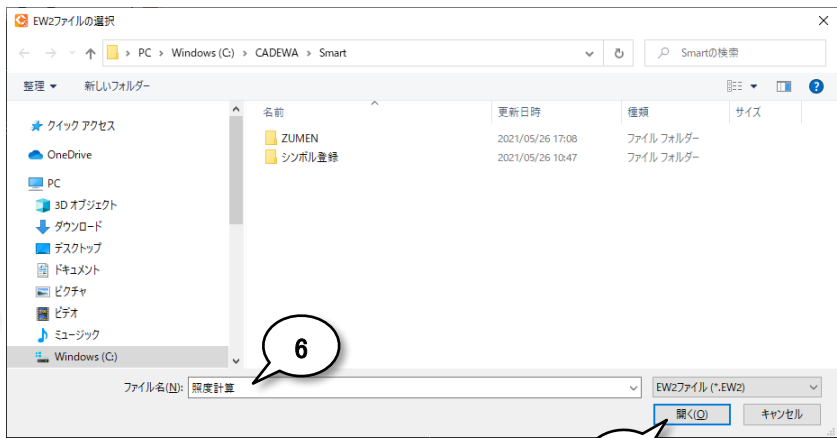
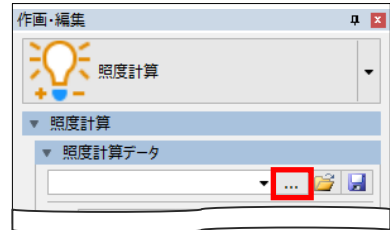


③ ファイル名を入力します

\*照度計算書

④ 保存

⑤ 照度計算データの保存パスを設定します

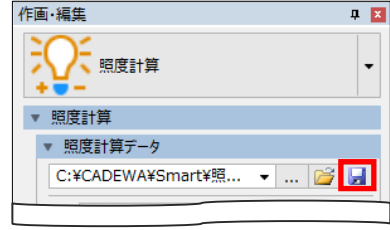


⑥ ファイル名を入力します

\*照度計算

⑦ 開く

⑧ データを保存します

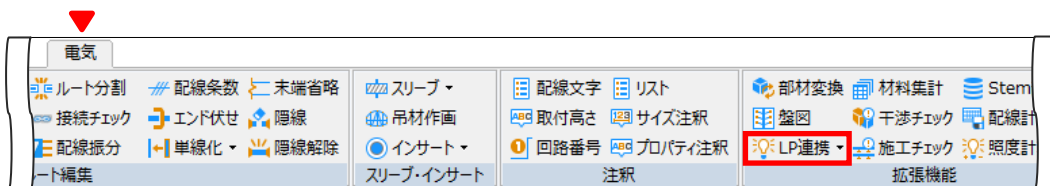


# 6.

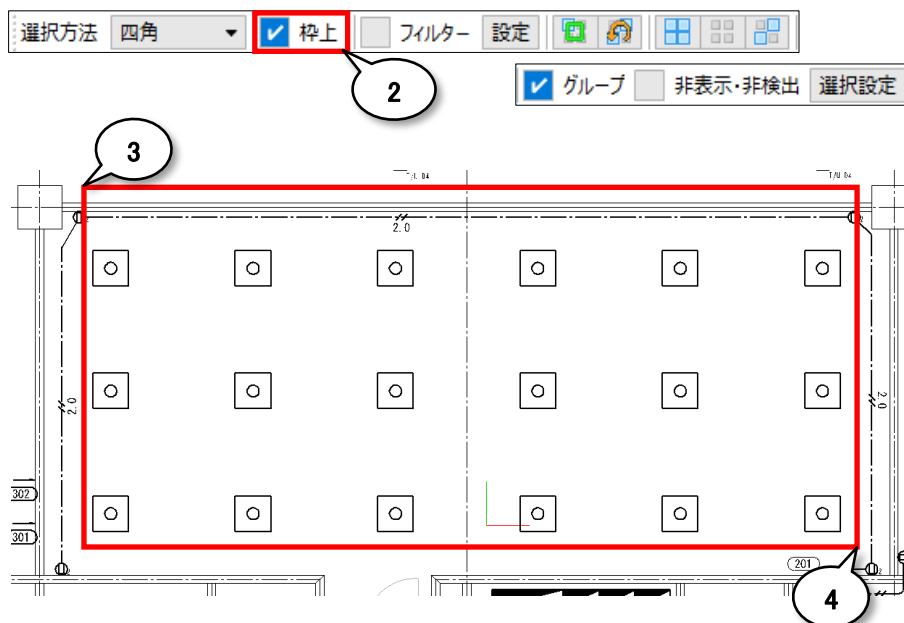
## 照度分布図を作画してみよう

### Operation

#### LP連携

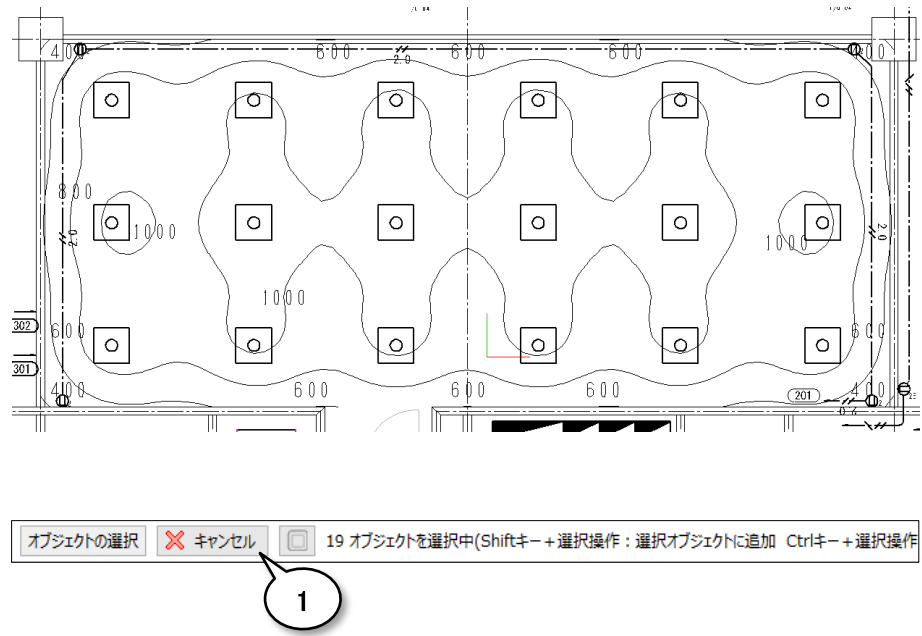


- ① 「対象選択」をクリックします
- ② 「枠上」をONにします
- ③ 対象部材を選択してください  
\*照明器具を選択
- ④ 選択範囲の終点を指示してください
- ⑤ 右 選択完了
- ⑥ 計算面高さを入力します  
\*0.8を入力
- ⑦ 作画項目を設定します  
\*「照度分布図作画」をON
- ⑧ OK  
\*照度計算処理完了を確認
- ⑨ キャンセル



5右 → 右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。

① キャンセル



部屋情報の利用



「部屋」情報を設定しておく、照度分布図作成の対象部材選択時に部屋を同時に選択することで、面積、計算面高さなどの情報を利用できます。  
(対象部材の選択時、「枠上」にチェックを入れて範囲選択すると「部屋」を同時に選択することができます。)

